

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 C-1-3 事業名 農山漁村地域復興基盤総合整備事業（水利施設整備事業） 地区名 柴鳥地区
事業費 総額 1,840,027千円
事業期間 平成25年～平成29年
事業目的・事業地区 本地区は宮城県南部亘理町の中央部に位置し、一級河川阿武隈川に囲まれるように展開する平地農業地域である。 地区内の排水は、昭和34年に築造された「荒浜排水機場」及び昭和63年築造された「荒浜第2排水機場」により鳥の海に排水されているが、低平地であるため潮位等外水位の影響を受け、降雨時には湛水被害を生じているほか、荒浜排水機場は築造後40年以上経過し老朽化が著しく、維持管理に支障を来していた。また、幹線排水路については、一部路線が土水路であることから法面崩壊により通水障害をきたすなど維持管理に多大な労力を強いられていたため、平成19年度から県営かんがい排水事業・柴鳥地区により排水機場の更新及び排水路の改修を行い、排水能力の強化に取り組んでいたが、事業実施途中に東日本大震災により、排水施設に甚大な被害を受けた。 このため、東日本大震災復興交付金を活用し、県営かんがい排水事業での改修を予定していた排水機場の整備を実施したものの。 (柴鳥地区の位置図は別紙のとおり)
事業結果 排水施設の整備を行い、降雨時の湛水被害が未然に防止され、農作物の品質向上や水田の汎用化による生産性が向上し、地域農業の振興に寄与した。 ・排水機場改修 1箇所（φ1350mm横軸斜流ポンプ エンジン113PS×2台 Q=7.16m ³ /s φ800mm横軸斜流ポンプ モーター75kw×1台 Q=1.4m ³ /s） ・排水路付帯工 1式（管理用道路工）
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・排水施設の整備により、農地のみならず地区内の宅地等の湛水が未然に防止され、また、排水機能の向上により農地の汎用化が図られ、転作作物（大豆等）の栽培が増加し品質も向上していることから、事業が適正に執行及び活用されていると判断される。 ② コストに関する調査・分析・評価 ・事業費の設計・積算は農林水産省土地改良工事積算基準等により実施し、宮城県財務規則等に基づき入札を行い、公正な競争・透明性の確保に努め、適正な事業執行がなされていると判断される。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

・柴鳥地区における農山漁村地域復興基盤総合整備事業は、以下のとおり概ね予定どおり事業を進めることができた。

<想定した事業期間>

実施設計発注・完了	平成25年～平成28年
建設工事発注・完了	平成25年～平成29年

<実際に事業に有した事業期間>

実施設計発注・完了	平成25年～平成28年
建設工事発注・完了	平成25年～平成29年

事業担当部局

宮城県農政部農村整備課水利施設保全班

電話番号：022-211-2876